

1 今年度の方針

- 対面授業を基本とする。
- 本科目の HP は <https://ist.ksc.kwansei.ac.jp/~ktaka/PROLOG/EonKP.html> ここに課題，連絡，レポート提出システムへのリンク等を掲載する。
- 例題を用いた簡単な説明の後，各自プログラミングを行いレポート提出システムを使って提出する。
- 遅刻者は入室時に TA に報告すること。報告のない場合は欠席と見なす。遅刻/欠席者は正当な事由があれば担当教員に速やかに申し出ること。遅刻/欠席による減点があるので注意。
- 教科書購入が望ましいが，難しいようならばネット上の適切なサイトを参照しながらすすめてもよい。
- 質問は担当教員宛でのメール (ktaka [at] kwansei.ac.jp) で行う。
- 数理論理学の復習をすること。
- 筆記用具を使ってプログラムの動作確認を行なうこと。
- 理解度テストに合格することが単位取得の必要条件だが，合格しても，出席状況，課題の提出状況や内容によって単位取得できない場合もあるので注意すること。

2 レポートの提出について

- 〆切は 1 週間後の木曜日 23:59:59. 〆切後は受け付けない. 完答できない場合は, 何がわからないかを明記してとにかく提出すること. その後必要に応じて修正要求を出すので, すみやかに修正して再提出をする. 再提出の締切は 7 月 18 日木曜 23:59 とする.
- アップロードするファイルはソースプログラムとプログラムの説明のテキストファイルの 2 種類がある. ソースプログラムが正しくても, 説明が正しく書かれていない場合は, レポート点が 0 点になる場合がある.
- ソースプログラム (r*_*.pl) については, 動作確認しエラーがなく答えが出力されることを確かめた上でアップロードする. (ファイル名は自由).
- テキストファイル (r*_*.txt) については第 2 回以降は (i) 指定されたプログラムの各節の論理的意味 (命題の形になっていること), (ii) あるゴールを実行したときの動作. (トレースを貼り付けてはいけない! 「ゴール」「実行」「単一化 (ユニフィケーション)」という用語をすべて用いてどのゴールとどの節のヘッドが単一化されて変数がどう書き換わり, どのゴールが呼ばれるなどを段階的に記述すること.) の 2 点を記述する.
- プログラムごとにコメントがある場合は各プログラムの冒頭に記述してもよい. コメントは % から始まる行に記述する. 複数行にまたがる場合は, /* と */ ではさんで記述してもよい. どうしても完成できなかった場合は, その旨をここに書いて未完成プログラムとして送付してもよい. この場合, どこがわからないのか必ず記述すること.
- 原則として, 毎回レポート提出しかつオプション課題 (* で示す) を除いてすべての問題を解いている (完全な解でなくてもある程度のチャレンジが行われている) もののみ成績評価の対象とする.
- 必ず自分で理解して書くこと (コピーが発覚した場合, コピー先, コピー元の両者ともその回の点を原則 0 点とする).
- その他, 配慮してほしい事情がある者は, できるだけ早く担当教員に届け出ること.